

1 活動名

新庁舎建設について（習志野市）

2 調査の目的

(1) 本市における課題

新庁舎建設に向けた基本計画策定中であり、基本計画に盛り込む各種項目について現在市民からの意見をくみ上げながら理事者が作業中であるが、市民により良い庁舎にするための様々な情報が必要である。

(2) 調査の必要性

事業手法の選択をはじめ、市民の合意形成をはじめとする建設までの経緯、設計上の配慮及び建設後の実態を直接視察することが必要。

(3) 調査項目

規模、防災、省エネ、財源及び市民の合意形成その他

3 調査地選定理由

(1) 習志野市

平成 29 年 4 月竣工と直近であること、人口規模が比較的近く規模等の参考となること、グッドデザイン賞を受賞した建物であること。

4 調査結果

(1) 実施日 令和元年 7 月 18 日（木）

(2) 出席者 1 名（会派開明に同行）

(3) 内容

人口 174 千人現在も人口増加中、職員数正規 1300 人と本市より一回り小さい規模であるが、新庁舎内に約 1000 人収容しているなど本市の参考となる施設であった。規模は約 18000 ㎡ F6、B1、敷地は 22400 ㎡という市立習志野高校用地として利用された跡地。

免震構造、危機管理課と一体となる会議室を防災対策本部に転用可能な計画とし、自然換気や大庇などによる省エネ対応としている。また、敷地の高低差を利用した外部外交デザイン一体となった室内空間が GD（グッドデザイン）の評価点。

(4) 成果・所感等

広大な敷地条件から中層建築物であっても高さを意識することが無く、大庇に囲まれたデザインから外観的に親しみを感じられた。内部は、大空間の事務室がワンストップ対応を念頭に関係課が配置され、特に教育部と子ども部が隣接するなど市民サービス対応がなされている。習志野市民からはサインが分かりにくい等の意見が出され、追加で張り紙等の案内がされていたが、この点は大いに本市の計画に配慮しなければいけない点である。

5 政務活動費

(1) 使途項目 調査旅費

(2) 支出額 9,930 円(日当 3,000 円、交通費 6,930 円)×1 人